



- 一、しっかり学ぶ 錦の子
- 一、よりよく生かす 錦の子
- 一、なかよく生きる 錦の子
- 一、元気でがんばる 錦の子

修学旅行（6学年）

11月12日（日）・13日（月）、今年は4年ぶりに鎌倉・東京方面への修学旅行となりました。初日は、鎌倉の高徳院から鶴岡八幡宮までの班別活動でした。事前の調べ学習や活動計画の成果を十分に発揮し、どの班も予定どおり行動することができました。



2日目は、日本未来科学館で、最新テクノロジー・地球環境・宇宙の探求・生命の不思議など、現在進行形の科学技術を体験しました。昼食後は、葛西臨海水族館を班ごとに見学しました。ドーナツ型の大水槽で群泳するクロマグロは圧巻でした。保護者の皆様、2日間送り迎え等で大変お世話になりました。

遠足（1学年）

11月8日（水）、1学年は遠足で宇都宮動物園に行きました。秋晴れの下、たくさんの動物と触れ合い、紅葉が舞う芝生の上でおいしいお弁当を食べることができました。午後は、乗り物やアスレチック広場で思いきり体を動かし、たくさんの思い出をつくることができました。



お弁当の日（全校生）

11月24日（金）は、地域学校園一斉の「お弁当の日」です。児童は、家族と相談しながらできるだけお弁当作りに関わることができました。いんどりや栄養バランスなどを考え、工夫を凝らしたお弁当が机の上に並び、とても華やかでした。みんな美味しくいただきました。



地域清掃（全学年）

12月1日（金）、9時45分から10時5分の間、5学年は錦西公園、6学年は錦中央公園のゴミ拾いなどを行う地域清掃を実施しました。他の学年は、4学年が中庭、1～3学年が校庭を分担しました。また当日は、たくさんの保護者の皆様にもご協力をいただいましてありがとうございました。児童は、清掃活動を通して地域の一員としての自覚を高め、地域を理解し、社会性を高めることができました。



◇最新の情報は、本校のホームページでご確認ください◇



表彰朝会（全学年）

11月29日（水）、表彰朝会を体育館で行いました。様々な分野で顕著な活躍をみせた児童に、全員で大きな拍手を送り、一人一人の健闘を称えました。

受賞した児童は右の通りです。

名 称	区分	学年・組	氏 名
第46回栃木県学生音楽コンクール（ピアノ部門）	銀賞	3-1	佐々木 琴音
第69回青少年読書感想文コンクール	優秀賞	3-1	佐々木 琴音
下水道いろいろコンクール（ポスター部門）	最優秀賞	3-2	平田 楓
下水道いろいろコンクール（ポスター部門）	優秀賞	6-1	阿久津 咲蕾
下水道いろいろコンクール（ポスター部門）	佳作	3-1	鈴木 あやめ
交通安全に関する啓発ポスターコンクール	最優秀賞	5-1	熊谷 寛乃
やさしさをはぐくむ福祉のまちづくりポスターコンクール	市長賞	5-2	出井 月
宇都宮市小学生陸上競技大会（Bブロック）	走り高跳び	1位	5-1 五十嵐 羽菜
	走り高跳び	2位	5-1 大阿久 輝
	走り高跳び	5位	6-1 石川 蒼
	100m走	3位	6-1 松本 樹希哉
4×100mリレー 5位	（5年女子）	荒川夏華、茂谷優花、稲葉愛奈、福田早絢	
4×100mリレー 5位	（6年男子）	石川 蒼、郡司 誠、橋本瑞生、松本樹希哉	

校内人権旬間（標語）

全校児童が人権に関する標語をつくり、クラスごとに掲示しました。今後、各クラス1点優秀作品を選び、昇降口に掲示し、人権意識の高揚を図っていきます。



土曜授業（オープンスクール）

12月2日（土）は、全市一斉土曜授業・オープンスクールとして、保護者や地域の皆様に、学校生活の様子や授業を参観していただきました。児童は、落ち着いた態度で、集中して学習に取り組んでいました。



教養～自他を生かす知恵～ 後拾遺和歌集（兼明親王）

ななえ や え はな さ やまぶき
『 七重八重 花は咲けども山吹の

み かな
実のひとつだに なきぞ悲しき 』



室町時代、太田道灌（どうかん）という武将の話です。ある日、鷹狩りに出かけ、夕立にあい、小さな家に駆け込みました。道灌が「蓑（みの）を貸してもらえぬか。」と声をかけると、少女が出てきて、黙って差し出したのは、蓑ではなく山吹の一枝でした。意味がわからぬ道灌は「花が欲しいのではない。」と怒り、雨の中を帰って行ったのです。その夜、道灌が城に戻りこの話をすると、家臣が、『七重八重 花は咲けども山吹の 実のひとつだに なきぞ悲しき』という歌があります。その少女は、蓑がひとつもない貧しさを山吹に例えたのではないのでしょうか。」と言いました。驚いた道灌は自分の教養のなさを恥じ、この日を境にして歌道に精進するようになったといいます。少女の「実の」を「蓑」にかけた知恵は見事です。この少女の機転の利いた独創的なアイデアは、知恵がもたらしたものです。そして、その知恵は、自分を生かすとともに周りの人も生かすことができる教養と言えます。学校の授業で学んだこと、新聞や本から得た情報、読書を通して学んだことや感じたこと、家族や友人との何気ない会話で知り得たことなど、日常生活の中にはたくさんの知識が隠れています。私たちはそれらを、自分の中での的確な意思決定や判断を生む知恵に高め、教養として身に付けたいものです。

年末を迎え、改めて一年を振り返ってみると、一人一人の成長の様子が鮮明に浮かび上がってきます。今までできなかったことができるようになるというのは、誰にとっても大きな喜びと言えます。新年も、子供たちが、自分のことも周りの人のことも生かすことのできる知恵（教養）を身に付け、また一歩成長できるよう、私たち教職員も日々精進してまいります。保護者の皆様、地域の皆様、今年も大変お世話になりました。